

<水俣フィールドワークの基礎学習>

◎水俣フィールドワークに入る前に学んでおいてほしい基礎学習内容をあげました。
事前学習にかけることができる時間や、学習形態に応じて、項目を取捨選択してください。
授業回数が1回か2回の短縮学習については、お薦めする学習モデルを表示しています。

※掲載画像は、自由に使用できるもののみ掲載しています。

※解像度の高い画像が必要な場合は、別途 Email 送信が可能です。

その場合「宅ふぁいる便」など大容量データを受け取る準備をお願いします。

※参考文献については、著作権法等にのっとり使用をお願いします。

I 基礎学習項目

1. 「水俣と水俣病の発生」

※各学習項目をクリックすると資料内容が表示されます。

- [\(01\) 水俣はどこにあるのか（どのような環境にある場所か）](#)
- [\(02\) 水俣のくらしを知る（豊穡の海、豊かな農産物など）](#)
- [\(03\) チッソ（当時は日本窒素肥料）の工場ができる（明治時代に操業がはじまる⇒なぜ水俣に？）](#)
- [\(04\) 第二次世界大戦中は朝鮮半島にも進出する](#)
- [\(05\) 戦後、水俣で本格的にアセトアルデヒドをつくり始める（企業城下町となっていく）](#)
- [\(06\) 1954 年、海辺の村でネコが狂って死に始める（何が起こったのか）](#)
- [\(07\) 1956 年、最初の患者が報告される（どこでだれが見つけたのか）](#)

2. 「水俣病の患者と地域社会」

※各学習項目をクリックすると資料内容が表示されます。

- [\(08\) 水俣病患者の状況→映像をみる、激症型患者の状況](#)
- [\(09\) 水俣病患者に対する地域の反応（差別と偏見）](#)
- [\(10\) チッソによる患者への対応（見舞金契約と漁民の怒り）](#)
- [\(11\) 原因の究明（熊本大医学部の研究）](#)
- [\(12\) 胎児性水俣病の発見](#)
- [\(13\) アセトアルデヒドの生産中止と千葉工場の建設](#)

3. 「水俣はいま」 資料：地図、『水俣病小史』

※各学習項目をクリックすると資料内容が表示されます。

- [\(14\) 公害認定と裁判](#)
- [\(15\) 病気の認定をめぐる問題](#)
- [\(16\) チッソのその後（世界的な化学企業に）](#)
- [\(17\) 水俣湾のその後（仕切り網の設置～湾内埋め立てへ）](#)
- [\(18\) 環境都市をめざして（エコタウンともやい直し）](#)
- [\(19\) 現在も続く水俣病](#)
- [\(20\) 水俣をどう伝えていくのか](#)

II お薦めする短縮学習プラン

◎先に紹介した 20 項目をすべて扱っていただけるとよいのですが、授業時間の制約や学習形態によって項目を選択しなければならないケースがあると思われます。そこで、短縮プランを以下にお示します。

※ページ中の文字教材，貸出映像教材を使って，できるだけ考えさせる学習をお薦めします。

1. 授業数 1 回プラン (50 分程度)

※各学習項目をクリックすると資料内容が表示されます。

[\(01\) 水俣はどこにあるのか \(どのような環境にある場所か\)](#)

[\(08\) 水俣病患者の状況→映像をみる，激症型患者の状況](#)

[\(11\) 原因の究明 \(熊本大医学部の研究\)](#)

[\(12\) 胎児性水俣病の発見](#)

[\(17\) 水俣湾のその後 \(仕切り網の設置～湾内埋め立てへ\)](#)

2. 授業数 2 回プラン (50 分程度×2 回)

※各学習項目をクリックすると資料内容が表示されます。

・1 回目

[\(01\) 水俣はどこにあるのか \(どのような環境にある場所か\)](#)

[\(02\) 水俣の暮らしを知る \(豊穡の海，豊かな農産物など\)](#)

[\(06\) 1954 年，海辺の村でネコが狂って死に始める \(何が起こったのか\)](#)

[\(07\) 1956 年，最初の患者が報告される \(どこでだれが見つけたのか\)](#)

[\(08\) 水俣病患者の状況→映像をみる，激症型患者の状況](#)

・2 回目

[\(09\) 水俣病患者に対する地域の反応 \(差別と偏見\)](#)

[\(11\) 原因の究明 \(熊本大医学部の研究\)](#)

[\(12\) 胎児性水俣病の発見](#)

[\(17\) 水俣湾のその後 \(仕切り網の設置～湾内埋め立てへ\)](#)

[\(18\) 環境都市をめざして\(エコタウンともやい直し\)](#)

関連書籍のご紹介

「水俣病」原田正純著 岩波新書

「苦海浄土」石牟礼道子著 講談社

「水俣胎児との約束 医師・板井八重子が受け取ったいのちのメッセージ」矢吹紀人著 大月書店

「メチル水銀を水俣湾に流す」入口紀男著 日本評論社

「再生する水俣」環境創造みなまた実行委員会編 葦書房

「胎児からのメッセージ ―水俣・ヒロシマ・ベトナムから―」原田正純著 実教出版

「水俣病と世界の水銀汚染」原田正純著 実教出版

「水俣の赤い海」原田正純著 フレーベル館 (絵本)

1. 「水俣と水俣病の発生」

(01) 水俣はどのような環境にある場所なのでしょうか。

- ・地図を見て、水俣がある場所を確認してみましょう。水俣は熊本県の一番南端に位置しており、南は鹿児島県出水市です。不知火海に面した市で、人口は 27, 598 人（2010 年）です。不知火海はどのような海でしょうか。天草諸島に囲まれたおだやかな海がひろがっています。

→このような場所で人々はどのようにして暮らしてきたのかを想像しましょう。

地図資料：熊本県



画像資料：左下・芦北町田浦から望む不知火海

右下・不知火海から見える夕日



(02) およそ 60 年前、水俣芦北地域の人々はどのようにして暮らしていたのでしょうか。

- ・ 不知火海はおだやかな海で、多くの魚介類がとれました。水俣や芦北の漁師は、海でちりめんじゃこ、太刀魚、海老、タコなど色々な魚介類を獲って生活していました。芦北町では、現在でも行われているうたせ船で漁を行っていました。毎食、食卓には、多くの新鮮な魚が並べられました。特に沿岸部に住む人たちは、現代の私たちよりも多くの魚介類を食べていました。一方、山間部でもさまざまな農作物がとれました。みんなが自分たちの食べ物は自分たちでまかなう生活（時給自足）をしていました。

画像資料：うたせ船・帆に風を受け底引き網をする昔ながらの漁法（体験もできる）



画像資料：水俣市久木野の棚田 寒川水源から湧き出る水が田畑を潤している



(03) チッソ（当時は日本窒素肥料）の工場ができる

- ・ 1908（明治 41）年，水俣市の中心地に日本窒素肥料の工場が建設されました。鹿児島県伊佐市を流れる川内川に建設された曾木発電所の余剰電力を利用するために，当時の水俣村が誘致したものでした。のちのチッソのはじまりです。創業者の野口遵（したがう）はこの工場で，カーバイドを利用して窒素肥料の製造を行いました。その後，大正時代には，九州各地に工場を建設していきます。

画像資料：曾木発電所遺構 鹿児島県伊佐市で遺構を見ることができる



(04) 第二次世界大戦中は朝鮮半島にも進出する

- ・ 1927（昭和 2）年，日本窒素肥料（日窒）は，朝鮮半島に進出。現在の北朝鮮にあたる興南などに世界最大の肥料工場を含む一大工場を建設し，大企業となります。窒素肥料の消費がどんどんのびた時代でした。日窒はなぜ朝鮮半島に進出したのでしょうか。

画像資料：「日本窒素肥料事業大観」より 朝鮮北部の興南工場



(05) 戦後、水俣で本格的にアセトアルデヒドをつくり始める

・1945 年の敗戦により、海外資産を失ったチッソは肥料や農業用ビニール生産などで再興しました。水俣はチッソ工場を中心に町がしだいに大きくなってきました。チッソのいわゆる企業城下町として成長していったのです。従業員は「会社行きさん」とあこがれの存在で呼ばれ、一方では、「会社勧進さん」と呼ばれるときは侮蔑も含んだ意味合いもありました。※「勧進さん」と「乞食」は、同義であった。人口は増加し、1956 年には、水俣の人口は 50,461 人で最も多く、アセトアルデヒド生産も最盛期をむかえました。チッソは化学工業の原料となるアセトアルデヒドの製造を 1932 年から行っていましたが、1950 年代中頃になると、増産がはじまります。高度経済成長にのって、化学工業が急成長していったためです。それにともなって、製造工程から排出された有機水銀(メチル水銀)が水俣湾にたれ流されるようになりました。

画像資料：当時のチッソ水俣工場



(06) 1954 年、海辺の村でネコが狂って死に始める

- ・ 1954 年、地元の熊本日日新聞で、水俣市茂道の集落でネコが狂い死にをはじめ、ほとんど全部のネコが全滅したことが報じられました。ネコが全滅したことによりネズミが急増し、部落の人々が困って市に対策を求めたことがきっかけでした。現在から考えると、水俣病のきざしを伝えるものだったが、当時の人々は気づきませんでした。また、当時、水俣近海では、魚や鳥の異常が出ていたということです。

新聞記事：熊本日日新聞 1954（昭和 29）年

水俣市 茂道部落

猫てんかんで全滅

ねずみの激増に悲鳴

三十一日水俣市茂道漁業石本町阪さん(三)もは市衛生課を助け、ねずみ急増して漁村を洗し回り、手がつけられぬと駆除方を申し込んだ。

同部落は百二十戸の漁村だが、不思議なことに六月初めごろから急に猫が狂い死し始め(部落ではねこテンカンといっている)百匹近い猫がほとんど全滅してしまい、反対にねずみが急増、大繁殖りて部落中を洗し回り、被害はますます増大する一方、あわてた人々は各方面から猫を買ってきたが、これまた気が狂ったよこ年リキリ舞した。

て死んでしまつたといつて、遂に市に泣きついてきたものと判つた。

なお同地区は水田は多く農薬の關係なども見られず、不思議なるや、気味悪がるもやっ衛生課でもねずみ退治のり出すことになつた。

(07) 1956 年 最初の患者が報告される（どこでだれが見つけたのか）

- ・ 1956（昭和 31）年 5 月 1 日，チッソ付属病院の野田医師と細川院長が水俣保健所に原因不明の病気の発生を報告しました。いわゆる水俣病の公式確認がなされた日です。患者は坪段に住む当時 2 歳 10 カ月だった女の子と姉で 5 歳の女の子でした。保健所などによる調査で年末までに 54 人の患者が確認され，すでに 17 人が死亡していることがわかりました。患者は，実は 3 年前にすでに発病していたこともわかりました。なぜ，チッソ付属病院で病気がみつかったのでしょうか。また，このような原因不明の病気が見つかった時に，人々はどのような対応をしたのでしょうか。

画像：坪段（坪谷） 当時とほとんど変わらないおだやかな入り江（平成 22 年 10 月）



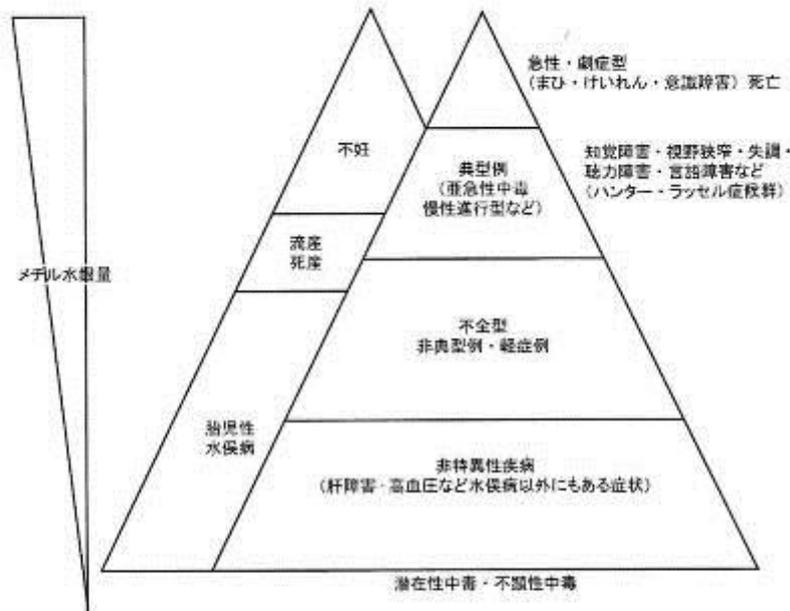
2. 「水俣病患者と地域社会」

(08) 水俣病患者の状況→映像をみる， 激症型患者の状況

- ・ 伝染病の疑いをかけられた患者たちは，隔離されました。しかし，伝染病の疑いは短い時間でなくなりました。病気にかかった人々をみると，伝染性がないことがわかったからです。一方，患者さんの容態はよくなりず，ひどい場合は死んでしまう人も多くいました。激しくけいれんしている患者さんたちは激症型の患者さんたちです。メチル水銀が脳にいったため，神経がおかされて，感覚障がいや運動障がいがおこっています。

資料：「図解水俣病 水俣病歴史考証館展示図録」財団法人水俣病センター相思社 編

症状のグラデーション



「ハンター・ラッセル症候群」と呼ばれる、イギリスの農業工場労働者の有機水銀中毒例がある。その主な症状は、運動失調（字が上手く書けない、歩けない等）、感覚障害（手足のしびれ）、聴力障害（耳が聞こえにくい）、^{こうびんしょうがい}構音障害（うまくしゃべれない、口が回らない）、^{まわりのしんせいのまよふとく}求心性視野狭窄（周辺が見えない）、^{しんげん}振戦（ふるえ）である。この症状を手がかりとして、水俣病の原因が有機水銀中毒と確認された。しかしこのことから、「これら症状が揃っていなければ水俣病ではない」と間違った理解をする医学者もいた。実際には有機水銀を直接浴びた場合と環境の媒介があるのではその症状も異なる。水俣病の症状は多様であり、「不全形」「非典型例」「軽症例」などがいわゆる「典型例」よりも多い。さらに、他地域と比較すると、沿岸住民の体力や健康は大きな偏りを見せ、水俣病の裾野の広さを物語っている。

(10) チツソによる患者への対応（見舞金契約と漁民の怒り）

・1959 年春から、漁民たちは、チツソに対する抗議活動をはじめました。工場側は奇病の原因が工場にあるとは認めませんでした。あとになってわかったことでしたが、当時、チツソは工場内でネコ実験を行っており、原因が工場排水にあることを知っていながら、かくしていたのです。その年の暮れの 12 月 30 日、患者団体とチツソの間での交渉に対して、県の調停案が示されました。いわゆる見舞金契約とよばれるもので、これはさまざまな問題をふくむものでした。漁民たちはあまりに少ない金額に、拒否することを決めましたが、苦しい生活の中で患者家族の中には契約を結んだ人もいました。見舞金契約は何が問題なのでしょうか。

資料：「図解水俣病 水俣病歴史考証館展示図録」財団法人水俣病センター相思社 編より

患者をだました見舞金契約

— 1959 年（昭和 34） —

（見舞金）契約書

第四条

甲は将来水俣病が甲の工場排水に起因しないことが決定した場合においてはその月をもつて見舞金の交付は打ち切るものとする。

第五条

乙は将来、水俣病が甲の工場排水に起因することが決定した場合においても新たな補償金の要求は一切行なわないものとする。

チツソは、工場の廃水が原因で水俣病が発生することを知りながら、人を殺した償いとしてでなく「貧しい人へのお見舞い」として、低額な補償金で処理してしまった。そして、患者側に「工場が原因と決定しても新たな補償はない」と約束させた。

企業・化学界・国・マスコミ・労働者すべてがチツソに味方する孤立無援の状況の中で、患者たちは屈辱的な契約を結ぶことを余儀なくされ、沈黙を強いられた。

なお、この見舞金契約はのちの裁判で公序良俗に反するとして無効とされた。



(11) 原因の究明（熊本大学医学部の研究）

・ 病気が見つかった 1956 年の翌年には、水俣保健所が行ったネコ実験によって、水俣湾でとれた魚が原因であることがわかっていました。しかし、その結果は対策に生かされることはありませんでした。一方、地元の熊本大学医学部は、原因物質をつきとめるために研究を重ねていました。未知の病気だった水俣病は、排水に含まれる何の物質によって、人体に被害が出るのなかなかわかりませんでした。しかし、1940 年にイギリスの農薬工場で起こったメチル水銀蒸気による中毒症状が水俣病の症状と一致したことから、原因の究明は大きく進みました。1959 年、熊本大学の研究班は、水俣病の原因として有機水銀説を発表しました。水俣湾に排出されたメチル水銀が魚に入り、その魚をたべた人間の脳に入り込んで神経をおかしたとされました。この結果も国は採用しようとせず、チッソの排水が止められることはありませんでした。むしろ、水銀ではないとする説が東京の大学の教授などから出され、原因の究明はさらに遅れました。

画像資料：ネコ実験の小屋 財団法人水俣病センター相思社 所有



(12) 胎児性水俣病の発見

- ・ 1961 年、それまでの医学の常識をくつがえす発表がありました。それは、母親の胎盤を通して有機水銀が体内に入り生まれてきた胎児性水俣病の患者の存在です。原田正純(元熊本学園大学教授)などによって、確認されました。それまでは母親の胎盤は毒物を通さないで胎児を守るとされていました。胎児性の水俣病患者は、さまざまな障がいをもって生まれてきました。現在も病気とたたかって生きている人たちがいます。

※ 語り部ビデオやDVDの貸し出しを水俣病資料館で行っています。

<http://www.minamata195651.jp/list.html#4> をクリックすると

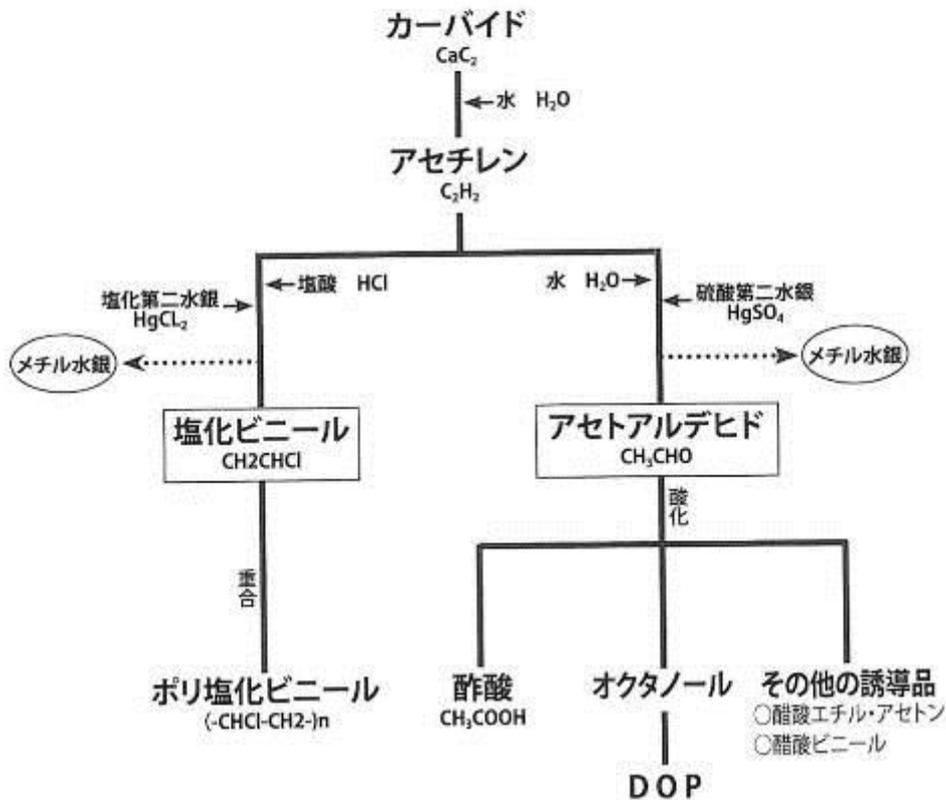
水俣病資料館の貸し出し案内ページにいきます。

(13) アセトアルデヒドの生産中止と千葉工場の建設

・チッソは、工場内で実験を行って排水に原因があるとわかってからも、操業を続けていました。排水口の出口を変えたり、サイクレーターと言う排水浄化装置をつくって安全性を強調しました。しかし、汚染がおさまることはなく、アセトアルデヒドは大增産されました。一方、世の中は石油化学工業への転換が進んでいました。チッソは千葉県市原市に石油化学コンビナートを建設します。そしてついに 1968 年、チッソはアセトアルデヒドの生産を中止しました。チッソは生産の中心を水俣から関東に移していきます。

資料：「図解水俣病 水俣病歴史考証館展示図録」財団法人水俣病センター相思社 編より

メチル水銀発生メカニズム



チッソ水俣工場では、合成酢酸の原料・アセトアルデヒドをつくるための触媒として、硫酸水銀が用いられた。この過程で硫酸水銀の一部が有機化してメチル水銀が副生される。重金属の水銀がもつ有害性はよく知られているが、これがメチル化するとタンパク質と結びつきやすくなることから飛躍的に毒性が増す。

アセトアルデヒドから製造されるプラスチックの可塑剤DOPは、当時日本でチッソが85%のシェア（市場占有率）を占めていたと言われており、日本の経済発展にとって、チッソのアセトアルデヒド生産は大変重要であった。

3. 「水俣はいま」

(14) 公害認定と裁判

- ・ 1968 年、ついに政府は水俣病を正式に公害と認定する見解を発表しました。公式発見から、実に 12 年の歳月がたっていました。当時は四日市ぜんそくや富山のイタイイタイ病、さらには新潟の第二水俣病などのいわゆる四大公害が起こり、被害を拡大させていました。そして翌 1969 年、水俣病患者 112 人がチツソを相手とする裁判を起こしました。裁判の判決は 1973 年に熊本地裁から下され、患者側の主張をほぼ全面的に認めるものでした。その後、第二次訴訟、三次訴訟、関西訴訟と裁判が相次ぎます。

資料：「図解水俣病 水俣病歴史考証館展示図録」財団法人水俣病センター相思社 編より

水俣病裁判判決

— 1973 (昭和 48) 年 —

判決理由要旨

「化学工場が、廃水を工場外に放流するにあたっては、常に最高の知識と技術を用いて廃水中に危険物混入の有無および動植物や人体に対する影響のいかんにつき調査研究を尽くして、その安全性を確認するとともに、万一有害であることが判明し、あるいはその安全性に疑念を生じた場合には直ちに操業を中止するなどして必要最大限の防止措置を講じ、とくに地域住民の生命・健康に対する危害を未然に防止すべき高度の注意義務を有するものといわなければならない。いかなる工場といえども、地域住民の生命・健康を侵害し、これを犠牲にすることは許されないからである。」

「被告工場における廃水の水質が、法令上の制限基準や行政基準に合致し、その廃水処理方法が同業他事業所のそれより優れていたとしても、被告工場がアセト・アルデヒド廃水を放流した行為については、終始過失があったと推認するに十分であり、廃水の放流が、被告の企業活動そのものとしてなされたという意味において、被告は過失の責任を免れないものといわなければならない。」

「被告の利潤優先・人命軽視の基本姿勢こそ水俣病を発生させた根本原因である。」

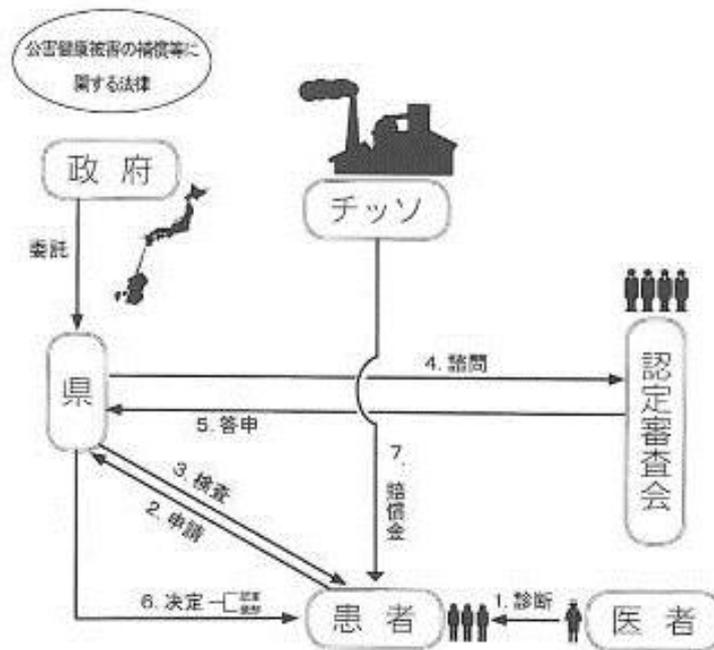


(15) 病気の認定をめぐる問題

・水俣病の患者さんは全部で何人いるのでしょうか。とても基本的な問題ですが、実は現在まで一度もその調査は行われたことがありません。ですから、水俣病の患者さんとはすなわち、病気の認定を受けた人、病気と認めてほしいと申請している人などから推測するしかありません。また、病気であっても、申請していない人もいます。水俣病の症状としては、手足のしびれ、視野がせまくなる、言語障がいなどがありますが、認定には複数の症状が必要とされるため、認定患者の数は限られ、申請しても認められない人が急増していきました。水俣病が発見された当時多かった激症型の患者さんは亡くなっており、現在は、高齢化によって症状が悪化する人や、新たに症状に気づく人が出ています。

資料：「図解水俣病 水俣病歴史考証館展示図録」財団法人水俣病センター相思社 編

認定・補償の仕組み



「公害健康被害の補償等に関する法律」に則り、行政により被害者として「認定」されることを経て、水俣病患者は補償を受けることができる。不知火海岸の汚染指定地区に居住し、水俣病の症状を持つ者は、医師の診断書を添付して県知事に認定申請する。県は申請者の検診を実施し、その記録を添えて、医師による認定審査会に諮問する。その答申を受けて、県知事は、認定か棄却かの処分を決定する。しかし、運用の実態は、同法に照らしても、水俣病患者の置かれている現状から見ても、問題が多い。

(16) チッソのその後（世界的な化学企業に）

- ・チッソは石油化学工業に転換してからは、肥料をつくるだけでなく、さまざまな分野の製品を開発してきました。現在では、液晶や液晶素材の生産では、世界シェアの約 50%をもちめています。また、ヒアルロン酸など、わたしたちが生活の中で使っているものや新しい製品をつぎつぎと送り出しています。2011 年には、水俣病患者への救済を行う（チッソ株式会社）と製造事業を行う（JNC=Japan New Chisso）に分社しました。

チッソ株式会社について 平成 22 年 12 月現在

■事業所

東京本社、大阪事務所、熊本事務所、欧州事務所

■製造所・工場

○五井製造所（チッソ石油化学株式会社）

東京湾に面する京葉コンビナートの一角に位置する。面積約 51 万平方メートルでポリプロピレン・ポリエチレンを中心とした合成樹脂分野と各種化成品の生産拠点。

○四日市工場（チッソ石油化学株式会社）（日本ポリプロ株式会社）

○守山工場（チッソポリプロ繊維株式会社）

琵琶湖の東岸に位置する守山工場は、五井製造所で生産されるポリプロピレンとポリエチレンを使用した複合繊維の生産基地。

○戸畑工場

（九州化学工業株式会社）（チッソファインテクノ株式会社）

北九州工業地帯の中心部にあり、機能性の高いファインケミカル、電子材料、肥料製品などを生産。例えば液晶材料、液晶の配向剤やカラーフィルターパネルの表面を平滑にするオーバーコート剤、肥効調節肥料(LP コート)や育苗培土など。

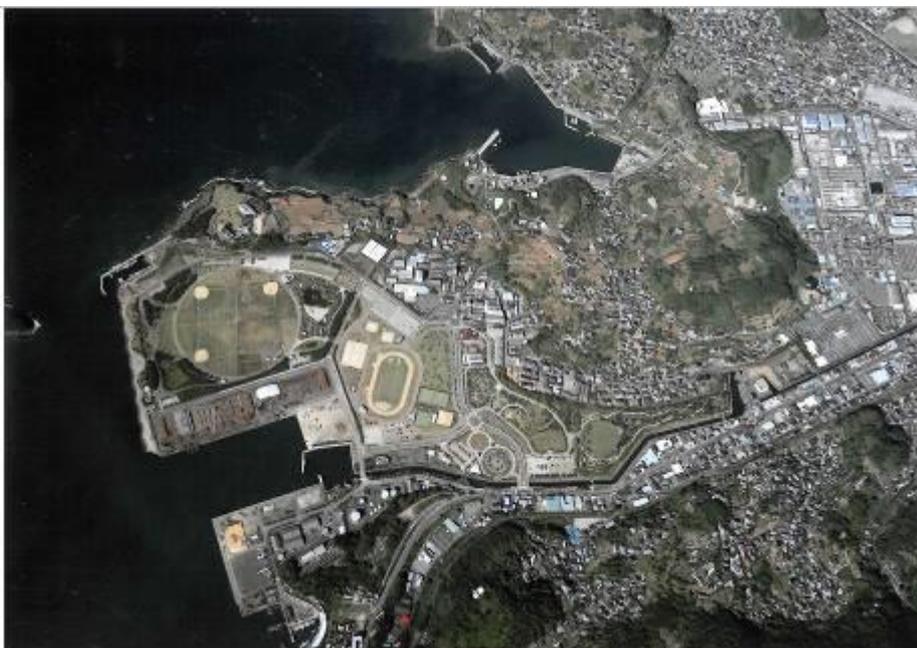
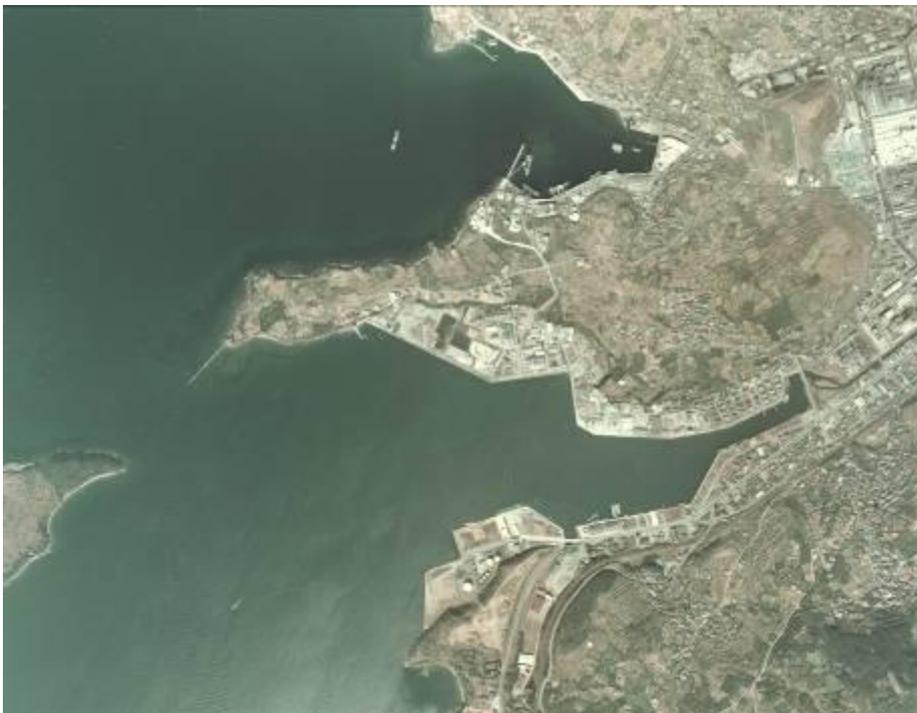
○水俣本部・水俣製造所

チッソ発祥の水俣本部・水俣製造所。不知火海に面する約 50 万平方メートルの敷地で、液晶、電子材料、ファインケミカルなどの最先端商品が生み出され、現在もチッソの中核工場として重要な役割を担う。

(17) 水俣湾のその後（仕切り網の設置～湾内埋め立てへ）

・1974 年，不知火海と水俣湾を仕切って水銀に汚染された魚をとじこめる仕切り網が設置されました。その延長は 2350mにもおよび、湾内では地元の漁民が汚染された魚を捕獲してドラム缶につめる作業が行われました。一方，水俣湾にたまった有機水銀をふくむヘドロは大きな問題となりました。最大 4mの厚さがあるヘドロを処理するため，県は湾内の埋め立てを行いました。ヘドロをくみとって，汚染された魚をつめたドラム缶と一緒に埋め立てたのです。1977 年から 13 年間にわたり工事が続きました。現在では，約 40ha の埋め立て地がグラウンドやバラ園など憩いの場として使われています。しかし，地中には現在も高い濃度の水銀ヘドロは残っており，老朽化による流出が心配されています。

航空写真：1974 年（昭和 49 年）の水俣湾と 2009 年（平成 20 年）埋立後の水俣湾



(18) 環境都市をめざして

・水俣病というのは、病気の名前に地名がつけられています。そのため、水俣で生活する人々は、「水俣の外に出た場合に出身地を名乗れない」などの偏見や差別に苦しんでいます。水俣はそのような負のイメージをかえるために、環境モデル都市として再生をめざしています。たとえばごみの減量化に取り組むため、ごみは 23 種類に分別して資源ごみ化する努力を行っています。資源ごみ収集日に中学生が部活動の前にごみステーションで分別作業を手伝う光景も見られます。また、2001 年に市民が分別したごみをリユース、リサイクルするみなまたエコタウンができ、水俣湾の埋め立て地はエコパークとして整備され、水俣病患者と市民との交流をはかる水俣市総合もやい直しセンターがつくられるなど、地域のきずなの修復をはかっています。

画像資料：資源ごみ分別の日に市民と一緒に地元の中学生在がボランティア活動をしている。



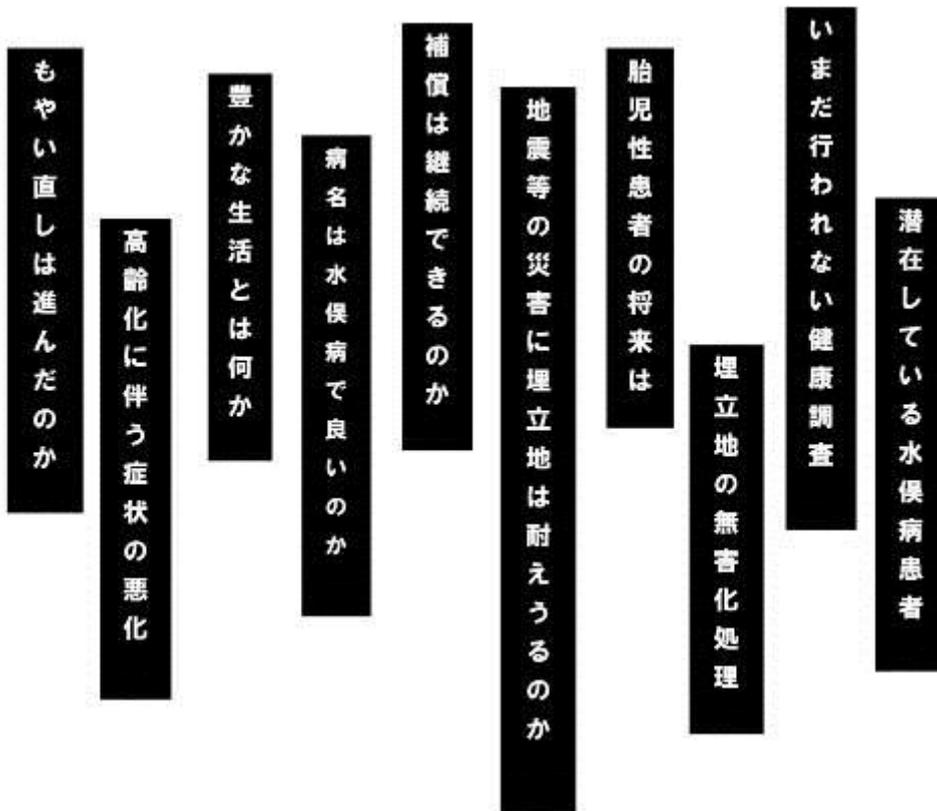
画像資料：「みなまたエコタウン」びんのリユース工場を見学する海外の生徒。



(19) いまだ課題を残す水俣病

・水俣病は、未認定患者救済のため、1996 年に政府が出した和解案を患者団体が受け入れたことにより、決着されたように思われていました。しかし、その政治決着を不服とする患者さんたちが起こしていた関西訴訟において、2004 年最高裁は国や県の主張を退けたため、再び病気の認定基準をめぐる問題が起こりました。2010 年、政府は「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法の救済措置の方針」を閣議決定し、これにもとづいた水俣病の申請を受け付け始めました。水俣病の解決とは何をさすのか、どのような方法で解決はかるのか未だに結論は出ていません。

取り残された課題



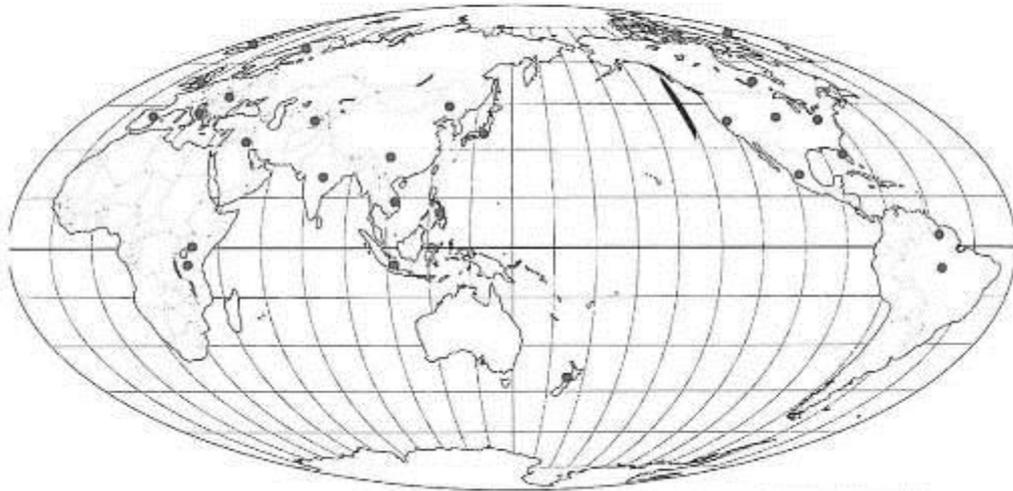
(20) 水俣をどう伝えていくのか

・これまで水俣病の歴史を簡単にふりかえりながら、さまざまなことが起こり、いろいろな立場の人がいることを伝えてきました。これまでの説明を聞いて、水俣病がどのような問題をかかえており、未だに何が続いているかわかったでしょうか。患者さんたちは、現在も水俣を中心として全国で暮らしています。

水俣に実際に出かけるみなさんには、水俣病や水俣の今を伝えるために、さまざまな努力をしている人たちがいることを考えてほしいと思います。たとえば、語り部さんはどのような思いで自分の経験を話しているのか考えてみてください。水俣で何を学び、そしてその経験をこれからの生活にどのように活かしていくのか、答えを出すのはみなさん自身です。

資料：「図解水俣病 水俣病歴史考証館展示図録」財団法人水俣病センター相思社 編

水俣病患者は何人いるのか



●水銀汚染が問題となっている地域

(国立水俣病総合研究センター資料等より作成)